

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成23年度純損失……………▲294,155千円 →▲65,177千円(対前年度差額)
 (平成22年度純損失……………▲228,978千円)

- ・収益については、外来診療単価が増加したものの、入院・外来患者数の減少から前年度比で約4%減少となった。
- ・費用については、経費が増加しているものの、給与費や材料費の減少により約2%減少となった。
- ・収支差については、平成22年度と比べ赤字額が増加し約2.9億円となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H22年度	H23年度	H23-H22	対前年度比	参 考
収益	43.5	41.9	▲ 1.6	96%	診療単価 (H22) (H23)
営業収益	42.9	41.4	▲ 1.5	97%	入院 38,458円 → 37,730円
うち入院収益	24.6	23.1	▲ 1.5	94%	外来 10,302円 → 10,844円
うち外来収益	8.9	8.9	0.0	100%	
うち運営費負担金	7.5	7.6	0.1	101%	患者数 (H22) (H23)
営業外収益	0.5	0.5	0.0	100%	入院 63,884人 → 61,168人
うち運営費負担金	0.3	0.3	0.0	100%	外来 86,477人 → 82,152人
臨時利益	0.0	0.0	0.0	-	
費用	45.8	44.8	▲ 1.0	98%	一般病床利用率 (H22) (H23)
営業費用	44.4	43.6	▲ 0.8	98%	53.9% → 51.4%
うち給与費	25.4	24.7	▲ 0.7	97%	
うち材料費	7.5	7.1	▲ 0.4	95%	
うち経費	8.7	8.9	0.2	102%	
うち減価償却費	2.7	2.8	0.1	104%	
営業外費用	1.4	1.2	▲ 0.2	86%	
臨時損失	0.0	0.007	0.007	皆増	
収支差	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 0.6	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (1.5億円減) 診療単価・患者数の減少によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (0.7億円減) 人件費の会計処理変更によるもの

うち材料費 (0.4億円減) 医業収益の減少によるもの

うち経費 (0.2億円増) 産婦人科応援医師経費の増加によるもの